

成人看護学

目標Ⅰ．成人各期の健康保持・増進や疾病の予防について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 成人の特徴と生活	A 成人期の発達課題の特徴	a 青年期・壮年期・向老期の身体的特徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 A「対象の理解：大人になること、大人であること」(p.4～28)
		b 青年期・壮年期・向老期の心理・社会的特徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 A「対象の理解：大人になること、大人であること」(p.4～28) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章 B-2-6「アイデンティティを求めるたたかいとモラトリアム」(p.100～101)、B-2-7「大人になるということ」(p.101)、B-2-8「新たな老年期の課題」(p.101～102) 心理学：第9章 D-1「成人期のはじまりと中年の危機」(p.186～190)
	B 成人の生活	a 家族形態と機能	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-3「家族からとらえる大人」(p.35～37)、第3章 H「家族支援」(p.142～146) 公衆衛生：第8章 C「成人保健」(p.225～227)、C-7「家族のライフステージに応じた健康課題と健康づくり」(p.247～248) 社会保障・社会福祉：第2章 A-3「家族・個人の変化」(p.37～39) 家族看護学：第2章 C「家族機能」(p.45～63)、D-1「現代家族の様相」(p.63～78)
		b 生活様式	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B-1-1「大人の生活」(p.28～29)、第2章 A-1-2「成人のライフスタイルの特徴」(p.48～54)、第5章 B-1「ライフスタイルと健康問題」(p.172)
	C 成人を取り巻く環境	a 社会状況の変化	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第1章 B「対象の生活：働いて生活を営むこと」(p.28～40)、第2章 A「成人を取り巻く環境と生活からみた健康」(p.42～63) 社会保障・社会福祉：第2章 A「現代社会の変化」(p.30～44)
2 成人における健康の保持・増進や疾病の予防	A 生活習慣に関連する健康課題	a 生活習慣病の要因	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「成人のライフスタイルの特徴」(p.48～54)、第5章 C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.177～187) 公衆衛生：第8章 B-4「生活習慣病対策」(p.234～242) 医学概論：第8章 E「生活習慣病と一次予防」(p.138～139)
		b 健康問題の現状と推移	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A「成人を取り巻く環境と生活からみた健康」(p.42～63)、第5章 C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.177～187) 公衆衛生：第8章 C-2「健康づくり対策の変遷」(p.229～232) 栄養学：第10章 A「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.238～241)
		c 生活習慣の是正	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 B-1-2「保健にかかわる対策—健やかな生活をはぐくむために」(p.65～72)、第3章 A「生活のなかで健康行動をはぐくむ援助」(p.90～101)、第4章「ヘルスプロモーションと看護」(p.152～168)、第5章「健康をおびやかす要因と看護」(p.170～188)、第10章「学習者である患者への看護技術」(p.274～292) 栄養学：第10章 B「生活習慣病の予防」(p.241～242)、C「食生活改善への施策」(p.243～247)
	B 職業に関連する健康課題	a 就労条件・環境と疾病との関係	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-3「職業性疾患・業務上疾病」(p.57～58)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.165～168)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.177～179) 公衆衛生：第10章 B「職場における健康をまもるしくみ」(p.340～354)
		b 職業性疾患の要因と健康診断の受診行動	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-2-3「職業性疾患・業務上疾病」(p.57～58)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.165～168)、第5章 C-1「就業・労働形態の変化がもたらす健康問題」(p.177～179)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			公衆衛生：第10章B「職場における健康をまもるしくみ」(p.340～354)
	C ストレスに関連する健康課題	a ストレス関連疾患の要因	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章B-2「ストレスと健康生活」(p.172～177)
		b ストレス対処方法	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章B-2「ストレスと健康生活」(p.172～177)、第11章E-2-2「治療・療養行動に伴うストレスに対するコーピングの強化」(p.328～329)、E-2-3「コーピング強化のための援助」(p.329～332) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章B-4「ストレスに対応する個人のなかの力」(p.36～38)、C-8「ストレスをしなやかにはねかえす力——レジリエンス」(p.47～48) 心理学：第10章B-1「ストレスと適応」(p.196～201)

目標Ⅱ．急性期にある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 急性期にある患者と家族の特徴と看護	A 患者の特徴	a 身体的特徴	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章C-2-2「身体的ニーズ」(p.75～79) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章A-2「急性期にある人の特徴」(p.200～204) 救急看護学：第2章A-3「発症様式と病態の特徴」(p.54～56) クリティカルケア看護学：第1章B-1「患者の特徴」(p.10～19)
		b 心理的特徴	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章C-2-1「心理的・社会的ニーズ」(p.74～75) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章A-2「急性期にある人の特徴」(p.200～204) 救急看護学：第2章A-4「心理的特徴」(p.56～59) クリティカルケア看護学：第1章B-1「患者の特徴」(p.10～19)
		c 社会的特徴	基礎看護学 [4] (臨床看護総論)：第2章C-2-1「心理的・社会的ニーズ」(p.74～75) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章A-2「急性期にある人の特徴」(p.200～204) 救急看護学：第2章A-2「患者背景の特徴」(p.53～54) クリティカルケア看護学：第1章B-1「患者の特徴」(p.10～19)
	B 家族の特徴	a 心理的特徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-4「家族の看護」(p.209～210) 救急看護学：第2章B-2「心理・社会的特徴」(p.60～63) クリティカルケア看護学：第1章B-2「家族の特徴」(p.19～23) 家族看護学：第5章A「急性期患者の家族看護」(p.188～200)
		b 社会的特徴	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-4「家族の看護」(p.209～210) 救急看護学：第2章B-2「心理・社会的特徴」(p.60～63) クリティカルケア看護学：第1章B-2「家族の特徴」(p.19～23) 家族看護学：第5章A「急性期患者の家族看護」(p.188～200)
	C 急性期における看護の基本	a 危機的状態への精神的支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-1「危機にある人々への支援」(p.204～208) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章F「災害とこころのケア」(p.171～189) 救急看護学：第2章A「救急患者の特徴」(p.52～59)、B「救急患者家族の特徴」(p.59～64) クリティカルケア看護学：第4章M「危機状態にある患者・家族へのケア」(p.264～271) 精神保健福祉：第4章B-1「危機的状況に対する早期介入」(p.82～87)
		b 治療の緊急性と優先度、治療選択・意思決定への支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「意思決定支援」(p.134～142)、第6章A-1「生命の危機状態」(p.190～200) 救急看護学：第4章B-3「緊急度・重症度の判断と治療の優先順位」(p.109～110) クリティカルケア看護学：第4章M-1-2「クリティカルケアにおける心のケア」(p.265～267)
		c 代理意思決定支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章G「意思決定支援」(p.134～142) 救急看護学：第2章B「救急患者家族の特徴」(p.59～64)、第3章B-2-5「家族への対応」(p.78)、C-3「家族への対応」(p.80～82)、第5章O-2「脳死患者・家族の看護」(p.289～292)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 救急看護、 クリティカルケア	A 緊急度と重症度の アセスメント	a 意識レベル、神経 学的所見	クリティカルケア看護学：第1章B-2-1「クリティカルな状況にある患者の家族」(p.19～23) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-1「意識障害」(p.54～60)、第4章A「診断と診察の流れ」(p.88)、B-1「神経学的診察」(p.89～93) 救急看護学：第4章D-1「脳・神経系の観察とアセスメント」(p.118～125) クリティカルケア看護学：第2章D-2「脳・神経機能障害のアセスメント」(p.103～109)、第4章A-1-1「脳・神経系のアセスメント」(p.177～180)
		b バイタルサイン	救急看護学：第4章B「全身と外観の観察とアセスメント」(p.103～109) クリティカルケア看護学：第4章A「観察と全身状態のアセスメント」(p.176～190)
	B 救急看護・クリ ティカルケアの基 本	a 心肺停止状態への 処置	救急看護学：第5章A「心肺停止状態への対応」(p.164～181) クリティカルケア看護学：第4章B「心肺蘇生法」(p.190～197)
		b ショックへの処置	救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.197～205) クリティカルケア看護学：第3章C-3-2「ショック患者の看護」(p.96～99)
		c 急性症状の応急処 置	救急看護学：第5章「主要病態に対する救急処置と看護」(p.164～292)
		d 外傷・熱傷・中毒 の応急処置	救急看護学：第5章I「外傷への対応」(p.238～258)、J「熱傷への対応」(p.259～268)、K「中毒への対応」(p.268～273)
		e 環境要因による障 害の応急処置	救急看護学：第5章H「体温異常への対応」(p.230～238) クリティカルケア看護学：第4章G「体温管理」(p.230～234)
		f 感染症への処置	クリティカルケア看護学：第3章E「消化機能障害」(p.116～134)、H「腎機能障害」(p.153～158)、I「多臓器障害」(p.158～165)
5 周術期にある患者と家族への看護	A 術前からの看護	a 手術療法の理解を 促す援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-1「危機にある人々への支援」(p.204～208) 臨床外科看護総論：第7章C「手術前の具体的な援助」(p.242～254)
		b 手術の意思決定へ の援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第6章B-1「危機にある人々への支援」(p.204～208) 臨床外科看護総論：第7章B-2「心の整理と意思決定の支援」(p.233～236)
		c 術後合併症のリス クアセスメントと 援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章B-2「合併症の予防」(p.208)、第11章B-2「回復阻害要因の排除による安全の確保」(p.310～314) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章C-2「手術後の患者にせん妄がみられるとき」(p.358～363) 臨床外科看護総論：第7章C-4「全身状態を整える」(p.249～251)
		d 術前オリエンテー ション	臨床外科看護総論：第7章C-2「手術前オリエンテーション」(p.244)
		e 不安のアセスメン トと援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章E-2「主体的な治療・療養行動の促進」(p.327～332) 臨床外科看護総論：第7章C-3-1「不安の緩和」(p.245～246)
		f ボディイメージ (身体像)の変容 への援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章D「ボディイメージの変化に対する看護」(p.320～326) 臨床外科看護総論：第7章C-3-2「身体像(ボディイメージ)変容の受容に対する支援」(p.246～249)
	B 術中の看護	a 開腹・開胸・開 頭・鏡視(内視鏡) 下の手術方法によ る影響と援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第11章C-1「手術による身体機能変化と日常生活機能への影響」(p.316～317) 成人看護学 [5] (消化器)：第6章D-4「手術療法を受ける患者の看護」(p.323～336) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章C-1「外科的治療法」(p.108～115) 臨床外科看護総論：第4章「外科的治療の実際」(p.144～182)、第8章「手術中患者の看護」(p.262～304)
		b 手術体位による影 響と援助	臨床外科看護総論：第8章B-3-2「手術体位とその介助」(p.272～276)
		c 麻酔による影響と 援助	臨床外科看護総論：第3章A「麻酔法」(p.76～101)、第8章B-3「麻酔導入時の注意」(p.268～272)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 術後の看護	d 安全管理〈セーフティマネジメント〉 (患者確認、ガーゼ遺存の防止)	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 E-2 「リスクマネジメント」 (p.124～125)、第11章 B 「安全を援助する看護技術」 (p.308～316) 臨床外科看護総論 : 第8章 A-2 「手術室の安全管理」 (p.262～265)
		a 生体反応	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 B-1 「モニタリング」 (p.308～310) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-2 「患者のアセスメント」 (p.307～309) クリティカルケア看護学 : 第3章 A 「過大侵襲を受けた患者の生体反応」 (p.54～64)
		b 術後の疼痛管理	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 A-4-1 「急性疼痛」 (p.300～304) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-5 「手術後の疼痛管理」 (p.312～316) クリティカルケア看護学 : 第4章 F-2 「鎮痛管理」 (p.224～227) 臨床薬理学 : 第4章 G-1 「硬膜外カテーテルによる鎮痛薬の投与と投与量の調整」 (p.297～303)
		c 創傷管理	臨床外科看護総論 : 第1章 E-4 「創傷管理法」 (p.38～41) クリティカルケア看護学 : 第4章 I 「創傷管理」 (p.241～245)
		d ドレーン管理	看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第3章 A-3-3 「ドレーン管理におけるおもな危険とその要因」 (p.128～130) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-7 「ドレーンの管理」 (p.319～323) クリティカルケア看護学 : 第4章 J 「ドレーン管理」 (p.245～252)
	D 術後合併症と予防	a 術後出血	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1 「開頭手術」 (p.110～111) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-1 「手術後の出血」 (p.330)
		b 下肢静脈血栓、肺塞栓症	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 D-6-a-3-6 「静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症)の予防」 (p.290～292) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-2-4 「深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症」 (p.331～332)
		c 呼吸器合併症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 A-1 「酸素化の促進」 (p.295～297) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第6章 D-6-a-3-4 「合併症予防のための患者教育」 (p.287～290)
		d 感染症	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 B-2-1 「感染予防」 (p.310～311) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第4章 C-1 「開頭手術」 (p.111) 臨床外科看護総論 : 第9章 C-10 「術後感染症」 (p.341～343) クリティカルケア看護学 : 第4章 H 「感染予防対策」 (p.234～241)
		e 廃用症候群	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 B-2-2 「早期離床」 (p.311～313) 臨床外科看護総論 : 第11章 D-2-2 「廃用症候群」 (p.389～391) クリティカルケア看護学 : 第4章 K 「早期回復への援助」 (p.250～253)
	E 術後の機能障害や生活制限への看護	a ボディイメージの受容への支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 D 「ボディイメージの変化に対する看護技術」 (p.320～326) 臨床外科看護総論 : 第9章 D-1 「形態変化や機能障害に対する適応への援助」 (p.343～344)
		b 退院調整	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第13章 「療養の場を移行する人々への看護技術」 (p.372～404) 在宅看護論 : 第3章 B 「療養の場の移行」 (p.56～69) 臨床外科看護総論 : 第9章 D-2 「退院指導と継続看護」 (p.344～345)
		c 機能訓練	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第8章 B-2-1 「急性期のリハビリテーションと看護」 (p.240～241)、第11章 C-5 「日常生活再構築に向けたリハビリテーション促進のための看護技術」 (p.319～320) 臨床外科看護総論 : 第9章 A-4 「早期離床の促進」 (p.311～312)
		d セルフケア能力の獲得	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第11章 E-2 「主体的な治療・療養行動の促進」 (p.327～332) 臨床外科看護総論 : 第9章 D 「自己管理に向けた援助」 (p.343～345)

目標Ⅲ. 慢性疾患がある患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 慢性疾患がある患者と家族の看護	A 慢性疾患がある患者と家族の特徴	a 慢性疾患の特徴	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 D-1 「慢性期の特徴」 (p.86~92)、D-2 「慢性期の患者のニーズ」 (p.92~96) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 A 「慢性病患者の理解」 (p.214~222)
		b 主な慢性疾患の疫学	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第2章 A-2 「成人の健康の状況」 (p.54~62)
		c 慢性疾患とともにある生活	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 「慢性病との共存を支える看護」 (p.214~231)
	B 慢性疾患の治療と看護の基本	a 治療選択・意思決定への支援	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 D-2 「慢性期の患者のニーズ」 (p.92~96)、D-3 「慢性期にある患者への看護援助」 (p.96~101) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 G 「意思決定支援」 (p.134~142)、第7章 B 「慢性病との共存の過程を支える看護の実践」 (p.222~230)
		b 継続的な支援体制と連携	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 D 「チームアプローチ」 (p.112~116)、第7章 B-3 「セルフマネジメント支援の構成要素」 (p.226~230) 在宅看護論 : 第3章 A 「在宅看護の提供方法」 (p.52~56)
	C セルフケア・自己管理への看護	a セルフケア能力と行動のアセスメント	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 D-2 「慢性期の患者のニーズ」 (p.92~96)、D-3 「慢性期にある患者への看護援助」 (p.96~101) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 B-2 「セルフケアとセルフマネジメント」 (p.224~225)
		b セルフケアに影響する要因	基礎看護学 [4] (臨床看護総論) : 第2章 D-2 「慢性期の患者のニーズ」 (p.92~96) 成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 B-2 「セルフケアとセルフマネジメント」 (p.224~225)、3 「セルフマネジメント支援の構成要素」 (p.226~230)、第10章 B 「セルフマネジメントを推進する看護技術」 (p.281~291) 公衆衛生 : 第8章 B-6-1 「健康教育とエンパワメント」 (p.244~245) 臨床外科看護総論 : 第9章 E 「自己管理に向けた援助」 (p.371~373)
		c セルフケアの工夫への支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 B-2 「セルフケアとセルフマネジメント」 (p.224~225)、3 「セルフマネジメント支援の構成要素」 (p.226~230)、第10章 B 「セルフマネジメントを推進する看護技術」 (p.281~291) 在宅看護論 : 第1章 B-2-3 「シンプルな医療へのアレンジ」 (p.22~23)
		d アドヒアランスや主体性の尊重	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第10章 B-2 「コンプライアンス(アドヒアランス)を高めるための知識と技術」 (p.282~284)
		e 疾病認識と自己モニタリング	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 B-3 「セルフマネジメント支援の構成要素」 (p.226~230)
		f 生活と自己管理の調整	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第7章 「慢性病との共存を支える看護」 (p.214~231)、第10章 「学習者である患者への看護技術」 (p.274~292) 臨床外科看護総論 : 第9章 E 「自己管理に向けた援助」 (p.371~373)
	D 社会的支援の獲得への看護	a 患者と家族の相互作用と関係性	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 H 「家族支援」 (p.142~146) 臨床外科看護総論 : 第1章 B-1 「家族の理解」 (p.33~38) 家族看護学 : 第5章 B 「慢性期の小児患者の家族看護」 (p.200~211)
		b 患者と家族の抱える問題	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 H 「家族支援」 (p.142~146) 臨床外科看護総論 : 第1章 B-2 「家族の健康上のニーズ」 (p.38~45) 家族看護学 : 第5章 B 「慢性期の小児患者の家族看護」 (p.200~211)
		c 退院調整と多職種連携	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第13章 「療養の場を移行する人々への看護技術」 (p.372~404) 在宅看護論 : 第3章 B 「療養の場の移行」 (p.56~69)
		d 患者会・家族会の活用と支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第3章 C 「人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ」 (p.107~112)、第7章 B-3 「セルフマネジメント支援の構成要素」 (p.226~230) 公衆衛生 : 第8章 B-6-2 「グループを活用したエンパワメント」 (p.245~246) 在宅看護論 : 第2章 C-5-2 「ピアサポート」 (p.49) 家族看護学 : 第3章 C-2 「家族を支える介入」 (p.111~116)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 医療費助成制度の活用	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第7章 B-3「セルフマネジメント支援の構成要素」(p.226～230)、第13章 B-4「複雑な社会資源利用方法」(p.382)、C-1-2「退院支援の進め方」(p.384～401) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第1章 A-3-2「難病」(p.8～9) 成人看護学 [11] (膠原病)：第1章 A-2「医療の動向(難病対策)」(p.117～118) 在宅看護論：第4章 B「在宅看護にかかわる法令・制度」(p.78～84)

目標Ⅳ. リハビリテーションの特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
7 リハビリテーションの特徴と看護	A リハビリテーションの特徴	a リハビリテーションの定義	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 A-3「障害がある人のリハビリテーション」(p.238～239) 成人看護学 [3] (循環器)：第6章 F「心臓リハビリテーションと看護」(p.357～367) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第6章 C-3「リハビリテーションを受ける患者の看護」(p.314～318) 社会保障・社会福祉：第7章 B-2-2「リハビリテーション」(p.184) リハビリテーション看護：第1章 A「リハビリテーションの定義と理念」(p.2～7)、第2章 A-1「リハビリテーション看護の定義」(p.40～41) 精神保健福祉：第4章 C-1「精神科リハビリテーションとリカバリー」(p.101～107)
		b リハビリテーションにおける看護の役割	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B「障害がある人とその生活を支援する看護」(p.239～246) リハビリテーション看護：第2章「リハビリテーション看護概論」(p.39～84)
		c 機能障害と分類	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 A-1「障害とは」(p.234～236) 公衆衛生：第8章 G-1「障害・難病とは」(p.293～296) リハビリテーション看護：第1章 C「疾病・障害・生活機能の分類」(p.15～22)
	B 機能障害のアセスメント	a 生活機能障害と日常生活動作〈ADL〉	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B「障害がある人とその生活を支援する看護」(p.239～246) リハビリテーション看護：第2章 C-2-1「ICFによる生活機能の全体的な構造」(p.61)、C-2-2「日常生活活動(ADL)の評価」(p.61～67)
		b 居住環境	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2-2「回復期のリハビリテーションと看護」(p.241～245)、B-2-3「維持期のリハビリテーションと看護」(p.245～246) 在宅看護論：第5章 B-2「情報収集とアセスメント」(p.117～131)
	C 障害に対する受容と適応への看護	a 廃用症候群の予防	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2-1「急性期のリハビリテーションと看護」(p.240～241) リハビリテーション看護：第3章 B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94～96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102～106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106～115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)
		b 日常生活動作〈ADL〉・活動範囲の拡大に向けた援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B「障害がある人とその生活を支援する看護」(p.239～246) リハビリテーション看護：第2章 C-3-1「日常生活活動の援助」(p.70～71)、第3章 B-4「障害とリハビリテーション看護」(p.96～113)、C-4-5「看護」(p.126～132)、第4章 A-5「障害とリハビリテーション看護」(p.145～196)、B-5「障害とリハビリテーション看護」(p.201～226)、C-5「障害とリハビリテーション看護」(p.231～256)
		c 補助具・自助具の活用	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 B-2-2「回復期のリハビリテーションと看護」(p.241～245) 成人看護学 [10] (運動器)：第6章 G-5「関節リウマチ患者の看護」(p.300～303) リハビリテーション看護：第3章 C-4-5「看護」(p.126～132)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148～164)、B-5-1「運動障害」(p.201～218)、C-5-1「運動麻痺」(p.231～244)
		d 心理的葛藤への援助	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第8章 A-2「障害がある人の障害の認識過程」(p.237～238)、B-2-2「回復期のリハビリテーションと看護」(p.241～245)、第11章 D「ボディイメージの変化に対する看護技術」(p.320～326)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 1 章 B-2-2 「心理・社会的な問題に対する援助」 (p.14~15) 臨床外科看護総論 : 第 7 章 C-3-2 「身体像(ボディイメージ)の変化受容に対する支援」 (p.262~265)、第 9 章 E-1 「形態変化や機能障害に対する適応への援助」 (p.371~372) リハビリテーション看護 : 第 2 章 B-2 「障害者の体験」 (p.47~57)、C-3-2 「障害受容に対する援助」 (p.73~75)
	D チームアプローチと社会資源の活用	a 多職種連携	在宅看護論 : 第 4 章 G-3 「地域の社会資源との連携」 (p.108) リハビリテーション看護 : 第 1 章 E-2 「連携職種」 (p.29~32)、E-3 「多職種連携のあり方」 (p.32~36)
		b 身体障害者福祉法に基づく社会資源の活用	公衆衛生 : 第 8 章 G-3-1 「生活支援・療養支援」 (p.299~301) 社会保障・社会福祉 : 第 1 章 B-3-2 「●身体障害者福祉法」 (p.21) 看護関係法令 : 第 7 章 D-3-4 「身体障害者福祉法」 (p.227~228) リハビリテーション看護 : 第 1 章 B-2 「障害者を支えるおもな制度」 (p.10~12)
	E 患者の社会参加への支援	a 就労条件・環境の調整	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 8 章 B-2-3 「維持期のリハビリテーションと看護」 (p.245~246) 成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 1 章 B-2-2 「心理・社会的な問題に対する援助」 (p.14~15)、第 6 章 A-3 「慢性期(退院後)の患者の看護」 (p.242~244) 精神保健福祉 : 第 5 章 B-4-2 「就労支援の実践」 (p.145~147)、第 7 章 B-2 「就労支援の展開」 (p.221~225) リハビリテーション看護 : 第 2 章 C-3-7 「社会参加への援助」 (p.83~84)
		b 社会参加を促す要素と阻害要因	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 8 章 A 「障害がある人とリハビリテーション」 (p.234~239) リハビリテーション看護 : 第 2 章 C-3-7 「社会参加への援助」 (p.83~84)

目標Ⅴ. がん患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
8 がん患者と家族への看護	A がん患者の抱える苦痛	a 転移・浸潤による身体的・心理的苦痛	がん看護学 : 第 3 章 A-1 「身体的苦痛」 (p.91~95) 緩和ケア : 第 6 章 B-1 「悪性腫瘍」 (p.173~181)
		b 再発や経過の不確かさに伴う心理的苦痛	がん看護学 : 第 3 章 A-2 「心理的苦痛」 (p.95~98) 緩和ケア : 第 5 章 B 「心理的苦痛 : 病によるストレスへの対処の力とその支援」 (p.97~115)
		c 社会的偏見や制約に伴う苦痛	がん看護学 : 第 3 章 A 「がん患者の苦痛に対するマネジメント」 (p.90~103) 緩和ケア : 第 5 章 C 「社会的ケア : 住み慣れた地域での暮らしの支援」 (p.97~115)
		d スピリチュアルな苦痛	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 14 章 C-3 「痛みのために患者が『死にたい』と訴えているとき」 (p.363~367) がん看護学 : 第 3 章 A 「がん患者の苦痛に対するマネジメント」 (p.90~103) 緩和ケア : 第 5 章 D 「スピリチュアルケア : 『生・老・病・死』と向き合う苦を支える」 (p.97~115)
	B がん患者の生活上の困難	a 全身消耗、倦怠感、疼痛等に伴う活動制限	がん看護学 : 第 2 章 B-6 「がんに伴うカヘキシアと倦怠感」 (p.72~75)、第 3 章 A 「がん患者の苦痛に対するマネジメント」 (p.90~103)
	C がん患者の治療と看護	a 広範囲で侵襲性の高い手術療法	臨床外科看護各論 : 第 1 章 II 「肺・胸部疾患患者の看護」 (p.38~82)、第 3 章 II 「消化器・腹部疾患患者の看護」 (p.319~366)、第 4 章 II-A 「開頭術を受ける患者の看護」 (p.403~415)、第 5 章 II-B 「頭頸部がん患者の看護」 (p.457~477) がん看護学 : 第 4 章 A 「手術療法」 (p.136~153)、第 5 章 B 「がん手術療法における看護」 (p.215~232)
		b 化学療法	薬理学 : 第 4 章 「抗がん薬」 (p.96~108) がん看護学 : 第 4 章 B 「薬物療法」 (p.153~180)、第 5 章 C 「薬物療法における看護」 (p.232~248) 臨床薬理学 : 第 4 章 F-2 「抗がん薬が血管外に漏出したときの副腎皮質ステロイド薬の局所注射および投与量の調整」 (p.289~296)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 放射線療法	がん看護学 ：第4章C「放射線療法」(p.180～200)、第5章D「放射線療法における看護」(p.248～261) 臨床放射線医学 ：第2部「放射線治療」(p.179～262)
		d 集学的治療	がん看護学 ：第2章B-4-1「集学的治療」(p.64～66)
	D がん患者の社会参加への支援	a 就労条件・環境の調整	がん看護学 ：第1章A-3「がんサバイバーシップケア」(p.15～19)、第6章B「がん患者の療養支援」(p.290～306) 緩和ケア ：第5章C「社会的ケア：住み慣れた地域での暮らしの支援」(p.97～115)
		b 社会参加を促す要素と阻害要因	がん看護学 ：第1章A-3「がんサバイバーシップケア」(p.15～19)、第3章B-2「セルフヘルプグループ」(p.111～115) 緩和ケア ：第5章C「社会的ケア：住み慣れた地域での暮らしの支援」(p.97～115)

目標Ⅵ. 終末期にある患者、および緩和ケアを必要とする患者と家族の特徴を理解し看護を展開するための基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
9 終末期にある患者および緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	A 緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	a がん患者	がん看護学 ：第2章B-7「緩和ケア」(p.75～88) 緩和ケア ：第6章B-1「悪性腫瘍」(p.173～181)
		b 心不全患者	成人看護学 [3] (循環器)：第6章A「疾患をもつ患者の経過と看護」(p.238～246)、第6章E-2「心不全患者の看護」(p.323～335) 緩和ケア ：第6章B-2「心疾患」(p.181～188)
		c 慢性呼吸不全患者	緩和ケア ：第6章B-2「呼吸器疾患」(p.188～202)
		d 慢性疼痛のある患者	在宅看護論 ：第6章C-10「疼痛緩和」(p.296～301) 緩和ケア ：第5章A-1-1「身体的苦痛」(p.80～89)
	B エンド・オブ・ライフ・ケア (end-of-life care)	a 症状アセスメントとマネジメント	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第12章「症状マネジメントにおける看護技術」(p.338～369) 在宅看護論 ：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア ：第7章「臨死期のケア」(p.224～233)
		b 全人的苦痛のアセスメントとマネジメント	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章B-2「全人的苦痛(トータルペイン)」(p.260～262)、C「人生の最期のときを支える看護」(p.263～270) 在宅看護論 ：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 臨床外科看護総論 ：第2章E-3「全人的苦痛の緩和」(p.119～124) クリティカルケア看護学 ：第2章C-2-2「苦痛緩和」(p.43～44) 緩和ケア ：第5章A-2「日常生活を支える援助」(p.93～96)
		c 苦痛緩和と意思決定支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章C「人生の最期のときを支える看護」(p.263～270) 在宅看護論 ：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 臨床外科看護総論 ：第2章E-3-1「身体的苦痛の緩和」(p.119～123) クリティカルケア看護学 ：第2章C-2-1「終末期における意思決定」(p.40～42)、C-2-2「苦痛緩和」(p.43～44) 緩和ケア ：第4章B「意思決定支援」(p.63～72)、第4章C-2-4「苦痛緩和のための鎮静」(p.74)
		d 予期的悲嘆に対するアセスメントとケア	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章C「人生の最期のときを支える看護」(p.263～270) 在宅看護論 ：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア ：第8章D「グリーフと遺族ケア」(p.249～254)
		e アドバンスケアプランニング	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第9章C-3-2「患者の意向を理解し、患者自身がよりよい方向を選択できるように支える」(p.267～268) 在宅看護論 ：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232)、第7章A-1-2「在宅療養準備期のおもな看護計画」(p.307～309) 緩和ケア ：第4章B-2「アドバンス・ケア・プランニング」(p.65～72)
		f 家族ケア	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第13章A「死にゆく人と周囲の人々へのケア」(p.458～464) 在宅看護論 ：第6章B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 臨床外科看護総論 ：第2章E-2-3「家族のケア」(p.119)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			クリティカルケア看護学 ：第2章 C-2-3「家族看護」(p.44～46) 緩和ケア ：第8章 D「グリーフと遺族ケア」(p.249～254) 家族看護学 ：第5章 C「終末期患者の家族看護」(p.212～226)
	C 臨死期の看護	a 身体的ケア	成人看護学 [1] (成人看護学総論) ：第9章 C「人生の最期のときを支える看護」(p.263～270) 在宅看護論 ：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア ：第7章「臨死期のケア」(p.224～233)
		b 精神的ケア	成人看護学 [1] (成人看護学総論) ：第9章 C「人生の最期のときを支える看護」(p.263～270) 在宅看護論 ：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア ：第7章「臨死期のケア」(p.224～233)
		c 家族の悲嘆へのケア、代理意思決定支援	成人看護学 [1] (成人看護学総論) ：第3章 G「意思決定支援」(p.134～142)、第9章 C「人生の最期のときを支える看護」(p.263～270) 在宅看護論 ：第6章 B-8「在宅におけるエンドオブライフケア」(p.224～232) 緩和ケア ：第8章 D「グリーフと遺族ケア」(p.249～254) 家族看護学 ：第5章 C「終末期患者の家族看護」(p.212～226)
		d 脳死状態への対応	成人看護学 [1] (成人看護学総論) ：第9章 B-1-1「死の判定」(p.258) 成人看護学 [7] (脳・神経) ：第3章 B-1-4「さまざまな意識障害と脳死」(p.58～60) 救急看護学 ：第5章 O「脳死状態への対応」(p.286～292)

目標Ⅶ. 各機能障害のある患者の特徴および病期や障害に応じた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
10 呼吸機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 酸素化障害	成人看護学 [2] (呼吸器) ：第2章 B-3「ガス交換」(p.35～38)、第4章 B-8-2「ガス交換機能検査」(p.100～108) クリティカルケア看護学 ：第3章 B「呼吸機能障害」(p.64～80)
		b 換気障害	成人看護学 [2] (呼吸器) ：第2章 B-2「換気運動」(p.33～35)、第4章 B-8-1「換気機能検査」(p.95～100) クリティカルケア看護学 ：第3章 B「呼吸機能障害」(p.64～80) 臨床検査 ：第10章 I-B「呼吸機能検査」(p.308～318)
		c 呼吸運動障害	成人看護学 [2] (呼吸器) ：第2章 B-1「呼吸調節」(p.32～33)、第4章 B-8「呼吸機能検査」(p.95～108) クリティカルケア看護学 ：第3章 B「呼吸機能障害」(p.64～80) 臨床検査 ：第10章 I-B「呼吸機能検査」(p.308～318)
		d 生命・生活への影響	成人看護学 [2] (呼吸器) ：第1章 B「患者の特徴」(p.11～13) 成人看護学 [7] (脳・神経) ：第6章 B-11「呼吸障害のある患者の看護」(p.292～296) クリティカルケア看護学 ：第3章 B「呼吸機能障害」(p.64～80)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 動脈血液ガス分析	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) ：第11章 B-1「血液検査」(p.407～416) 成人看護学 [2] (呼吸器) ：第4章 B-8-2「動脈血ガス分析」(p.101～107) 臨床検査 ：第5章 J「血液ガス分析」(p.174～179)
		b 呼吸機能検査	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) ：第12章 B-7「肺機能検査」(p.447～448) 成人看護学 [2] (呼吸器) ：第4章 B-8「呼吸機能検査」(p.95～108) 臨床検査 ：第10章 I-B「呼吸機能検査」(p.308～318)
		c 気管支鏡検査	成人看護学 [2] (呼吸器) ：第4章 B-6-1「気管支鏡」(p.87～92)、第6章 C-1-1「気管支鏡検査」(p.246～247) 臨床検査 ：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345～355)
		d 胸腔穿刺	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) ：第12章 C-9-1「胸腔穿刺」(p.449～451) 成人看護学 [2] (呼吸器) ：第4章 B-7-1「細胞診」(p.92～93)、第6章 C-2-2「胸腔穿刺」(p.249～250) 臨床検査 ：第3章 C「体腔内貯留液検査」(p.95～97)
		e 肺生検	成人看護学 [2] (呼吸器) ：第4章 B-7「生検」(p.92～95)、第6章 C-2「肺組織の生検を受ける患者の看護」(p.248～251) 臨床検査 ：第9章 B-1「生検(バイオプシー)」(p.281～282)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 治療を受ける患者の看護	a 酸素療法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 A「酸素療法」(p.234～240) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-2「酸素療法」(p.111～113)、第6章 D-2「酸素療法を受ける患者の看護」(p.253～258) 在宅看護論 : 第6章 C-7「在宅酸素療法(HOT)」(p.276～281) クリティカルケア看護学 : 第4章 C-2「酸素療法」(p.208～210)
		b 非侵襲的陽圧換気	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 E「人工呼吸療法」(p.264～270) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-3「人工呼吸療法」(p.114～118)、第6章 D-3「人工呼吸器を装着する患者の看護」(p.258～273) 在宅看護論 : 第6章 C-6「非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)」(p.271～276) クリティカルケア看護学 : 第4章 C-1「人工呼吸器による呼吸管理」(p.197～208)
		c 侵襲的陽圧換気	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 E「人工呼吸療法」(p.264～270) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-3「人工呼吸療法」(p.114～118)、C-5-5「気管切開」(p.124～125)、第6章 D-3「人工呼吸器を装着する患者の看護」(p.258～273)、D-4「気管切開を受ける患者の看護」(p.273～282) 在宅看護論 : 第6章 C-8「在宅人工呼吸療法(HMV)と排痰法」(p.282～289) クリティカルケア看護学 : 第4章 C-1「人工呼吸器による呼吸管理」(p.197～208)
		d 肺切除術	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-7-1「開胸術と肺切除」(p.130～132)、第6章 D-6「手術を受ける患者の看護」(p.283～304) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-A-6-3「肺がんの治療・予後」(p.17～21)、II-A「肺切除術を受ける患者の看護」(p.38～57)
		e 胸腔ドレナージ	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 C「胸腔ドレナージ」(p.256～259) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-6「胸腔ドレナージ」(p.124～129)、第6章 D-5「胸腔ドレナージを受ける患者の看護」(p.282～283) 臨床外科看護各論 : 第1章 II-A-2「手術後の看護」(p.43～57)
		f 吸入による薬物療法	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第7章 D「吸入」(p.260～264)、第9章 C「吸入」(p.318～319) 成人看護学 [2] (呼吸器) : 第4章 C-1「吸入療法」(p.109～111)、第6章 D-1「吸入療法を受ける患者の看護」(p.251～253) 臨床薬理学 : 第3章 F「気管支喘息」(p.111～119)、G「慢性閉塞性肺疾患」(p.120～124)
		g 薬物療法	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章各疾患の「治療」の項目(p.138～224) 薬理学 : 第10章 A「呼吸器系に作用する薬物」(p.230～234) 臨床薬理学 : 第2章 E「鎮咳・去痰薬」(p.60～64)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 腫瘍(肺癌、中皮腫)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 G-2「悪性腫瘍」(p.199～212)、I-1-5「胸膜腫瘍」(p.217～218)、第6章 E-8「肺がん患者の看護」(p.345～354)
		b 炎症性疾患(肺炎、気管支炎、胸膜炎)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 A-1-2「急性気管支炎」(p.139)、A-3「肺炎」(p.142～153)、I-1-1「胸膜炎」(p.213～214)、第6章 E-1「肺炎患者の看護」(p.305～308)
		c 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 C-3「慢性閉塞性肺疾患」(p.183～188)、第6章 E-4「慢性閉塞性肺疾患患者の看護」(p.323～338) リハビリテーション看護 : 第5章 A「慢性閉塞性肺疾患」(p.263～280)
		d 気管支喘息	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第5章 C-1「気管支喘息」(p.176～181)、第6章 E-3「気管支喘息患者の看護」(p.317～323) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第5章 E-1「気管支喘息患者の看護」(p.81～83)
11 循環機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a ポンプ機能障害	成人看護学 [3] (循環器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.32～46)、第5章 B「心不全」(p.152～164)、第6章 E-2「心不全患者の看護」(p.323～335) クリティカルケア看護学 : 第3章 C-4-1「急性心不全」(p.80～83)
		b 刺激伝導障害	成人看護学 [3] (循環器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.32～46)、第5章 D「不整脈」(p.175～201)、第6章 E-4「不整脈患者の看護」(p.338～343)
		c 血管・リンパ管障害	成人看護学 [3] (循環器) : 第3章「症状とその病態生理」(p.32～46)、第5章 J「動脈系疾患」(p.223～229)、K「静脈系疾患」(p.230～233)、L「リンパ系疾患」(p.234～235)、第6章 E-8「動脈系疾患患者の看護」(p.348～352)、E-9「静脈系疾患患者の看護」(p.352～354)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 生命・生活への影響	成人看護学 [3] (循環器) : 第1章 B-1 「患者の特徴」 (p.8~10)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 心電図	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第11章 C-1 「心電図モニター」 (p.423~425)、第12章 B-6 「心電図検査」 (p.445~447) 成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 B-1 「心電図」 (p.52~60)
		b 心血管超音波	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 B-3 「心エコー法」 (p.63~66) 臨床検査 : 第10章 I-A 「循環機能検査」 (p.289~308)、Ⅱ-A 「超音波検査」 (p.334~339)
		c 血管造影	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 B-5 「心臓カテーテル法」 (p.68~75)、第6章 C-1 「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」 (p.263~264) 臨床放射線医学 : 第7章 「IVR・血管造影」 (p.157~177)
		d 心臓カテーテル	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 B-5 「心臓カテーテル法」 (p.68~75)、第6章 C-1 「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」 (p.263~264)
	C 治療を受ける患者への看護	a 経皮的冠動脈形成術 (PCI)	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 C-1-2 「経皮的冠動脈インターベンション (PCI)」 (p.84~87)、第6章 C-1 「心臓カテーテル法を受ける患者の看護」 (p.263~264) 臨床外科看護各論 : 第2章 Ⅱ-B-3 「非開心術を受ける患者の看護」 (p.160~161)
		b 冠動脈バイパス術 (CABG)	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 C-2-2 「冠動脈バイパス術」 (p.100~103)、第6章 D-4 「冠動脈バイパス術を受ける患者の看護」 (p.297~299) 臨床外科看護各論 : 第2章 Ⅱ-B-2 「冠動脈バイパス術を受ける患者の看護」 (p.158~160)
		c 弁置換術・弁形成術	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 C-2-3 「弁膜症に対する手術」 (p.103~109)、第6章 D-5 「弁置換術・弁形成術を受ける患者の看護」 (p.299~303) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-A-3-a 「弁膜症」 (p.92~99)、Ⅱ-B-1 「弁置換術を受ける患者の看護」 (p.156~158)
		d 大動脈内バルーンパンピング (IABP)	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 C-3-1 「大動脈内バルーンパンピング」 (p.116)、第6章 D-8 「補助循環装置を装着する患者の看護」 (p.310~312) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-A-5-1 「補助循環」 (p.108~110) クリティカルケア看護学 : 第4章 D-4-1 「大動脈内バルーンパンピング (IABP)」 (p.215~216)
		e ペースメーカー	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 C-1-3 「ペースメーカー治療」 (p.87~92)、第6章 E-4-b 「ペースメーカーを装着した患者への看護」 (p.340~343) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-A-4-2 「ペースメーカー植込み」 (p.106~107)
		f 植込み型除細動器	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 D-4-4 「植込み型除細動器 (ICD)」 (p.201) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-A-4-4 「植込み型除細動器」 (p.107) クリティカルケア看護学 : 第4章 D-4-3 「植込み型除細動器 (ICD)」 (p.217~218)
		g 血栓溶解療法・血栓除去術	成人看護学 [3] (循環器) : 第4章 C-2-5 「血栓除去術」 (p.115)、第5章 A-2-b-5 「治療」 (p.141~145)、第6章 D-7 「血栓除去術を受ける患者の看護」 (p.308~310) 薬理学 : 第9章 G-2 「血栓溶解薬および抗血小板薬」 (p.219~221) 臨床外科看護各論 : 第2章 I-B-4-2 「深部静脈血栓症」 (p.133~135) 臨床薬理学 : 第3章 E 「抗血小板薬・抗凝固療法」 (p.105~110)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 心不全	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-2 「心不全患者の看護」 (p.323~335) 臨床薬理学 : 第3章 C 「心不全」 (p.92~98)
		b 虚血性心疾患	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-1 「虚血性心疾患患者の看護」 (p.312~323) リハビリテーション看護 : 第5章 B 「虚血性心疾患」 (p.281~298) クリティカルケア看護学 : 第3章 C-3-1 「急性冠症候群患者の看護」 (p.93~96) 臨床薬理学 : 第3章 B 「急性冠症候群」 (p.86~91)
		c 弁膜症	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-5 「弁膜症患者 (感染性心内膜炎患者) の看護」 (p.343~345)
		d 不整脈	成人看護学 [3] (循環器) : 第6章 E-4 「不整脈患者の看護」 (p.338~343) 臨床薬理学 : 第3章 D 「不整脈」 (p.99~104)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
12 消化・吸収機能障害のある患者への看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	e 閉塞性動脈硬化症（下肢動脈閉塞症）	成人看護学 [3] (循環器) : 第 6 章 E-8-b 「動脈閉塞性疾患患者の看護」 (p.350～352)
		a 咀嚼・嚥下障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 特論「摂食・嚥下障害患者の看護」 (p.242～270) 成人看護学 [15] (歯・口腔) : 第 6 章 B-2-4 「摂食・嚥下障害のある患者の看護」 (p.171～175)
		b 消化管機能障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-1 「食道疾患患者の看護」 (p.342～354)、E-2 「胃・十二指腸疾患患者の看護」 (p.354～367)、E-3 「腸・腹膜疾患患者の看護」 (p.367～396)
		c 膵液分泌障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-5 「膵臓疾患患者の看護」 (p.424～433)
		d 胆汁分泌障害	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-4 「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」 (p.396～424)
		e 生命・生活への影響	成人看護学 [5] (消化器) : 第 1 章 「消化器の看護を学ぶにあたって」 (p.6～14)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 上部消化管内視鏡	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 12 章 B-4 「内視鏡検査」 (p.441～443) 成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-4 「●上部消化管内視鏡検査」 (p.303～304) 臨床検査 : 第 10 章Ⅲ 「内視鏡検査」 (p.345～355)
		b 大腸内視鏡	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-4 「●大腸(下部消化管)内視鏡検査」 (p.304) 臨床検査 : 第 10 章Ⅲ 「内視鏡検査」 (p.345～355)
		c 内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (ERCP)	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-5 「●内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査」 (p.306～307)
		d 消化管造影	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 C-5 「●上部消化管造影検査」 (p.305～306) 臨床放射線医学 : 第 2 章 D-1-6 「消化管造影」 (p.47～48)
		e 造影 CT・MRI	臨床放射線医学 : 第 3 章 C-2 「造影 CT 検査」 (p.61～67)、第 4 章 C-2 「MRI で用いる造影剤および造影剤使用の説明と同意」 (p.87～90)
		f 直腸診	成人看護学 [5] (消化器) : 第 4 章 A-5 「直腸指診」 (p.73～74)
	C 治療を受ける患者への看護	a 咽頭・喉頭摘出術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-1 「食道疾患患者の看護」 (p.342～354) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第 6 章 D-1 「音声ならびに嚥下の障害に対するリハビリテーションと看護」 (p.188～192) 臨床外科看護各論 : 第 5 章Ⅱ-B 「頭頸部がん患者の看護」 (p.457～477)
		b 食道切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-1 「食道疾患患者の看護」 (p.342～354) 臨床外科看護各論 : 第 3 章Ⅱ-C-1 「食道の手術を受ける患者の看護」 (p.330～336) クリティカルケア看護学 : 第 3 章 E-3-4 「食道がんで手術を受ける患者の看護」 (p.130～133) 栄養食事療法 : 第 13 章 B-1 「食道の摘出手術」 (p.183～185)
		c 胃切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 D-4 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.323～336)、E-2 「胃・十二指腸疾患患者の看護」 (p.354～367) 臨床外科看護各論 : 第 3 章Ⅱ-C-2 「胃の手術を受ける患者の看護」 (p.336～343) 栄養食事療法 : 第 13 章 B-2 「胃の摘出手術」 (p.185～188)
		d 大腸切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-3 「腸・腹膜疾患患者の看護」 (p.367～396) 臨床外科看護各論 : 第 3 章Ⅱ-C-3 「大腸の手術を受ける患者の看護」 (p.343～354) 栄養食事療法 : 第 12 章 C 「大腸の摘出手術」 (p.188～191)
		e 膵切除術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 E-5 「膵臓疾患患者の看護」 (p.424～433) 臨床外科看護各論 : 第 3 章Ⅱ-F 「膵臓の手術を受ける患者の看護」 (p.362～365)
		f 腹腔鏡視下手術	成人看護学 [5] (消化器) : 第 6 章 D-4 「手術療法を受ける患者の看護」 (p.323～336)、E-3 「腸・腹膜疾患患者の看護」 (p.367～396)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-B「腹腔鏡手術を受ける患者の看護」(p.328～330)
		g 人工肛門造設術	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3「腸・腹膜疾患患者の看護」(p.367～396) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-C-3-a「腹会陰式直腸切断術を受ける患者の看護」(p.345～350)
		h 手術後ドレナージ	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 D-4「手術療法を受ける患者の看護」(p.323～336) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-A-2「手術後の看護」(p.325～328)
		i 胆道・胆嚢ドレナージ	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-E「胆嚢・胆道の手術を受ける患者の看護」(p.360～362)
		j 経腸栄養法	栄養学：第9章 C-1「経腸栄養法」(p.197～199) 栄養食事療法：第2章 B-2「経管・経腸栄養法」(p.24～26)
		k 経静脈栄養法	栄養学：第9章 C-2「経静脈栄養法」(p.199) 栄養食事療法：第2章 B-3「経静脈栄養法」(p.26) 臨床薬理学：第4章 B-2「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」(p.243～251)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 口腔・咽頭腫瘍(舌癌、咽頭癌、喉頭癌)	成人看護学 [15] (歯・口腔)：第6章 D-1「口腔がん患者の看護」(p.201～218) 臨床外科看護各論：第5章Ⅱ-B「頭頸部がん患者の看護」(p.457～477)
		b 上部消化管腫瘍(食道癌、胃癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-1-1「食道がん患者の看護」(p.342～352)、E-2-2「胃がん患者の看護」(p.358～367) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-C-1「食道の手術を受ける患者の看護」(p.330～336)、Ⅱ-C-2「胃の手術を受ける患者の看護」(p.336～343) クリティカルケア看護学：第3章 E-3-4「食道がんで手術を受ける患者の看護」(p.130～133)
		c 下部消化管腫瘍(大腸癌、結腸癌)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3-8「大腸がん患者の看護」(p.389～396) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-C-3「大腸の手術を受ける患者の看護」(p.343～354)
		d 人工肛門造設後	成人看護学 [5] (消化器)：特論「ストーマケア」(p.462～480) 臨床外科看護各論：第3章Ⅱ-C-3-b-2「手術後の看護」(p.350～354) 栄養食事療法：第13章 B-4「人工肛門造設患者」(p.191～192)
		e 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎・Crohn〈クローン〉病)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-3-1「潰瘍性大腸炎患者の看護」(p.367～370)、E-3-2「クローン病患者の看護」(p.370～373) 栄養食事療法：第6章 B-2「潰瘍性大腸炎」(p.78～79)、B-3「クローン病」(p.79～82)
		f 潰瘍性疾患(胃・十二指腸潰瘍)	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-2-1「胃・十二指腸潰瘍患者の看護」(p.354～358) 栄養食事療法：第6章 A-3「胃・十二指腸潰瘍」(p.71～73) 臨床薬理学：第3章 H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125～131)
		g 胆石症	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4-8「胆石発作時の看護」(p.418～419)
		h 膵炎	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-5-1「急性膵炎患者の看護」(p.424～426)、E-5-2「慢性膵炎患者の看護」(p.426～428) クリティカルケア看護学：第3章 E-3-3「急性膵炎患者の看護」(p.128～130)
13 栄養代謝機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 肝機能障害	成人看護学 [5] (消化器)：第6章 E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424) 栄養食事療法：第6章 D「肝・胆・膵疾患」(p.89～99) 臨床検査：第5章 B「血清酵素の検査」(p.139～144)、第5章 E「胆汁排泄関連物質の検査」(p.157～160)
		b 代謝機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B「代謝疾患」(p.132～187)、第6章 C「代謝疾患患者の看護」(p.243～293) 栄養学：第9章 F-5「栄養・代謝疾患患者の食事療法」(p.216～220) クリティカルケア看護学：第3章 F「栄養・代謝機能障害」(p.134～145) 栄養食事療法：第8章「栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法」(p.128～146)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 検査・処置を受ける患者への看護		臨床検査：第5章C「糖代謝の検査」(p.144～151)、D「脂質代謝の検査」(p.151～157)、F「窒素化合物の検査」(p.160～161)
		c 生命・生活への影響	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章B「代謝疾患」(p.132～187)、第6章C「代謝疾患患者の看護」(p.243～293)
		a 腹部超音波	成人看護学 [5] (消化器)：第6章C-1「腹部超音波検査を受ける患者の看護」(p.299～300) 臨床検査：第10章II-A-3「腹部超音波(腹部エコー)検査」(p.336～339)
		b 肝生検	成人看護学 [5] (消化器)：第6章C-3「肝生検を受ける患者の看護」(p.301～303) 臨床検査：第9章B-1「生検(バイオプシー)」(p.281～282)
		c 腹腔鏡	成人看護学 [5] (消化器)：第4章B-5-3「腹腔鏡検査」(p.92～94)
	C 治療を受ける患者への看護	a 肝庇護療法	成人看護学 [5] (消化器)：第6章E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424)
		b インターフェロン療法	成人看護学 [5] (消化器)：第6章E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424)
		c 食道静脈瘤内視鏡治療	臨床外科看護各論：第3章I-F-2-2「食道・胃静脈瘤」(p.284～290)
		d 肝動脈塞栓術	成人看護学 [5] (消化器)：第6章E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424) 臨床外科看護各論：第3章I-D-3-1「原発性肝がん」(p.253～259)
		e 肝切除術	成人看護学 [5] (消化器)：第6章E-4「肝臓・胆嚢疾患患者の看護」(p.396～424) 臨床外科看護各論：第3章I-D-3-1「原発性肝がん」(p.253～259)、II-D「肝がん患者の看護」(p.358～360) クリティカルケア看護学：第4章E-3-5「肝切除術を受ける患者の看護」(p.136～139)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 肝炎	成人看護学 [5] (消化器)：第6章E-4-1「急性肝炎患者の看護」(p.396～401)、E-4-2「慢性肝炎患者の看護」(p.401～403) 栄養学：第9章F-4-b-1「急性肝炎」(p.212)、F-4-b-2「慢性肝炎」(p.212～213) 栄養食事療法：第6章D「肝・胆・膵疾患」(p.89～99) 臨床薬理学：第3章J「慢性肝炎」(p.137～145)
		b 肝硬変	成人看護学 [5] (消化器)：第6章E-4-3「肝硬変症患者の看護」(p.404～407) 栄養学：第9章F-4-b-3「肝硬変」(p.213) 栄養食事療法：第6章D-2「肝硬変症」(p.90～92)
		c 肝癌	成人看護学 [5] (消化器)：第6章E-4-5「肝(臓)がん患者の看護」(p.410～412) 臨床外科看護各論：第3章II-D「肝がん患者の看護」(p.358～360) クリティカルケア看護学：第4章E-3-5「肝切除術を受ける患者の看護」(p.136～139)
		d 高尿酸血症、脂質異常症、肥満	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第6章C-2「脂質異常症患者の看護」(p.281～286)、C-3「肥満患者の看護」(p.286～289)、C-5「尿酸代謝異常患者の看護」(p.291～293) 栄養学：第9章F-5「栄養・代謝疾患患者の食事療法」(p.216～219) 栄養食事療法：第8章A「肥満」(p.128～130)、F「脂質異常症」(p.141～144)、G「高尿酸血症・痛風」(p.144～146) 臨床薬理学：第3章N「脂質異常症」(p.169～174)
14 内部環境(体温、血糖、体液量、電解質) 酸塩基平衡調節機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 体温調節機能障害	成人看護学 [11] (感染症)：第6章B-1「発熱」(p.369～370) 救急看護学：第5章H「体温異常への対応」(p.230～238)
		b 血糖調節機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章B-1「糖尿病」(p.132～164)、第6章C-1「糖尿病患者の看護」(p.243～281) 臨床検査：第5章C「糖代謝の検査」(p.144～151)
		c 体液量調節機能障害	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章C「浮腫」(p.49～51)、D「脱水」(p.51～52) 臨床検査：第5章I「水・電解質の検査」(p.169～174)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 電解質調節機能障害	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 F-4 「電解質の異常」 (p.57～58) 臨床検査 : 第5章 I 「水・電解質の検査」 (p.169～174)
		e 酸塩基平衡調節機能障害	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第2章 B-4 「酸塩基平衡」 (p.38～39)、第4章 B-8-2 「酸塩基平衡」 (p.104～107) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 F-5 「酸塩基平衡の障害」 (p.58～59) 臨床検査 : 第3章 A 「尿検査」 (p.79～91)、第5章 J 「血液ガス分析」 (p.174～179)
		f 生命・生活への影響	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1 「糖尿病」 (p.132～164)、第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243～281) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 II-1 「浮腫のある患者の看護」 (p.205～207)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 糖負荷試験 (OGTT)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第4章 B-2-1-2 「75g 経口ブドウ糖負荷試験 (75gOGTT)」 (p.72～73)、第6章 C-1-c-3 「検査を受ける糖尿病患者の看護」 (p.271～272) 臨床検査 : 第5章 C 「糖代謝の検査」 (p.144～151)
		b 血糖自己測定 (SMBG)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 C-1-c-3-5 「血糖自己測定 (SMBG) 実施の援助」 (p.268～271)
		c 静脈性尿路造影	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 B-4 「画像検査」 (p.79～86)、第6章 III-4 「画像検査を受ける患者の看護」 (p.230～232)
		d 腎生検	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 B-7 「生検」 (p.91～93)、第6章 III-5 「生検を受ける患者の看護」 (p.232～234) 臨床検査 : 第9章 B-1 「生検 (バイオプシー)」 (p.281～282)
	C 治療を受ける患者への看護	a インスリン補充療法	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1-4 「インスリン」 (p.145～147)、第6章 C-1-c-3 「●注射薬による治療への支援」 (p.265～271) 薬理学 : 第11章 A-1-2 「インスリン製剤」 (p.253～255) 臨床薬理学 : 第4章 C 「インスリンの投与量の調整」 (p.252～258)
		b 糖尿病経口薬による治療	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1-4 「●経口糖尿病治療薬」 (p.144～145)、第6章 C-1-c-3 「●経口血糖降下薬による治療への支援」 (p.264～265) 薬理学 : 第11章 A-1-1 「経口血糖降下薬」 (p.251～253) 臨床薬理学 : 第3章 M 「糖尿病」 (p.159～168)
		c 食事・運動療法	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 B-1-4 「糖尿病の治療」 (p.136～143)、第6章 C-1-c-3 「●健康な食 (食事療法) に関する援助」 (p.257～261)、 「●活動的な生活 (運動療法) への援助」 (p.261～263) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第6章 IV-A-2 「食事療法・運動療法を受ける患者の看護」 (p.240～241) 栄養学 : 第9章 F-5 「栄養・代謝疾患患者の食事療法」 (p.216～220)、F-6 「腎臓疾患患者の食事療法」 (p.220～222) 栄養食事療法 : 第8章 「栄養代謝性疾患患者の栄養食事療法」 (p.128～146)
		d 急性期持続血液濾過透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 E-3 「持続血液透析濾過法」 (p.109)、第6章 IV-C-5 「持続血液透析濾過を受ける患者の看護」 (p.264)
		e 血液透析	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 E-1 「血液透析」 (p.103～106)、第6章 IV-C-2 「血液透析患者の看護」 (p.255～259) 臨床薬理学 : 第3章 L 「透析患者における薬剤管理」 (p.153～159)
		f 腹膜透析 (CAPD)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 E-2 「腹膜透析」 (p.106～109)、第6章 IV-C-3 「腹膜透析患者の看護」 (p.259～262)
		g 腎移植	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 F 「腎移植」 (p.109～112)、第6章 IV-E 「腎移植を受ける患者の看護」 (p.302～307)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 低体温症	病態生理学 : 第2章 B-4 「低体温」 (p.37～38)
		b 1型糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243～281) 臨床薬理学 : 第3章 M 「糖尿病」 (p.159～168)
		c 2型糖尿病	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 C-1 「糖尿病患者の看護」 (p.243～281) 臨床薬理学 : 第3章 M 「糖尿病」 (p.159～168)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 急性腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 A-1「急性腎不全」(p.115~118)、第6章 IV-B-8「急性腎不全・急性腎障害患者の看護」(p.247~250)
		e 慢性腎不全	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 A-3「慢性腎不全」(p.119~121)、第6章 IV-B-9「慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護」(p.250~252)
		f 慢性腎臓病	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 A-4「慢性腎臓病」(p.121~123)、第6章 IV-B-9「慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護」(p.250~252) 臨床薬理学 : 第3章 K「慢性腎臓病」(p.146~152)
		g 腎移植術後	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第4章 F「腎移植」(p.109~112)、第6章 V-E「腎移植を受ける患者の看護」(p.302~307)
15 内分泌機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 甲状腺機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-3「甲状腺疾患」(p.97~112)、第6章 B-3「甲状腺疾患患者の看護」(p.210~228) 臨床検査 : 第7章 C「甲状腺ホルモンの検査」(p.218~224)
		b 副腎機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-5「副腎疾患」(p.119~125)、第6章 B-5「副腎疾患患者の看護」(p.233~242) 臨床検査 : 第7章 E「副腎皮質ホルモンの検査」(p.225~230)、F「副腎髄質ホルモンの検査」(p.230~231)
		c 下垂体機能障害	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-1「視床下部-下垂体前葉系疾患」(p.82~94)、A-2「視床下部-下垂体後葉系疾患」(p.94~97)、第6章 B-2「下垂体疾患患者の看護」(p.200~210) 臨床検査 : 第7章 A「下垂体前葉ホルモンの検査」(p.212~216)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」(p.216~217)
		d 生命・生活への影響	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B「内分泌疾患患者の看護」(p.198~242)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a ホルモン血中・尿中濃度測定	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第4章 A-1「ホルモンの血中濃度の測定」(p.62~63)、A-2「尿中のホルモンおよび代謝産物の測定」(p.63)、第6章 B-1-2「ホルモンの血中濃度測定時の看護」(p.199) 臨床検査 : 第7章「内分泌学的検査」(p.210~238)
		b ホルモン負荷試験	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第4章 A-4「ホルモン負荷試験」(p.64~65)、第6章 A-1-3「ホルモン負荷試験時の看護」(p.199) 臨床検査 : 第7章「内分泌学的検査」(p.210~238)
	C 治療を受ける患者への看護	a 甲状腺ホルモン療法	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B-3「甲状腺疾患患者の看護」(p.210~228)
		b 甲状腺切除術	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B-3-4「甲状腺切除術を受ける患者の術前の看護」(p.219~222)、第6章 B-3-5「甲状腺切除術を受ける患者の術後の看護」(p.222~226) 臨床外科看護各論 : 第5章 I-B-3-2「治療」(p.451~453)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B-3「甲状腺疾患患者の看護」(p.210~228)
		b 腫瘍(甲状腺癌、下垂体腫瘍)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第6章 B-2「下垂体疾患患者の看護」(p.200~210)、B-3-3「甲状腺腫瘍患者の看護」(p.219)
16 身体防御機能の障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 皮膚粘膜障害	成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章「疾患の理解」(p.81~159)
		b 免疫機能障害	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章 B-3「易感染(白血球減少)状態にある患者の看護」(p.160~163) 成人看護学 [11] (アレルギー) : 第5章 B「症状に対する看護」(p.64~73) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第6章 B「症状に対する看護」(p.184~188)
		c 骨髄機能障害	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C「造血器腫瘍」(p.74~134)、第5章「患者の看護」(p.146~220)
		d 生命・生活への影響	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第5章 A「疾患をもつ患者の経過と看護」(p.58~64) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第6章 A「疾患をもつ患者の経過と看護」(p.178~184)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a スキンテスト	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第3章 B-4「皮膚テスト」(p.34~35)、第5章 C-2「検査を受ける患者の看護」(p.74~76)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	C 治療を受ける患者への看護		成人看護学 [12] (皮膚) : 第4章 B-1 「皮膚科的検査法」 (p.53～59)
		b 粘膜・皮膚生検	成人看護学 [12] (皮膚) : 第4章 B-3 「病理組織検査法」 (p.63) 臨床検査 : 第9章 B-1 「生検(バイオプシー)」 (p.281～282)
		c 骨髄穿刺	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第12章 B-9-4 「骨髄穿刺」 (p.455～456) 成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第5章 C-2 「主要な検査と看護」 (p.164～165) 臨床検査 : 第4章 E 「骨髄検査」 (p.127～132)
		a 減感作療法	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第3章 C-3 「アレルゲン免疫療法」 (p.38)、第5章 D-3 「アレルゲン免疫療法を受ける患者の看護」 (p.80～81)
		b 免疫抑制薬	成人看護学 [11] (膠原病) : 第4章 C-2 「薬物療法」 (p.142～147)、第6章 D-1 「薬物療法を受ける患者の看護」 (p.189～193) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第4章 C-1 「全身療法(内服・注射薬)」 (p.64～67)、C-2 「外用療法」 (p.68～70)、第6章 E-1 「内服療法を受ける患者の看護」 (p.192～193)、E-2 「外用療法を受ける患者の看護」 (p.193～202) 薬理学 : 第5章 B 「免疫抑制薬」 (p.114～115)
		c ステロイド療法	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第3章 C-2-1 「副腎皮質ステロイド薬」 (p.36～38)、第5章 D-2 「薬物療法を受ける患者の看護」 (p.78～80) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第4章 C-2-2 「副腎皮質ステロイド薬」 (p.143)、第6章 D-1 「薬物療法を受ける患者の看護」 (p.189～193) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第4章 C-1 「全身療法(内服・注射薬)」 (p.64～67)、C-2 「外用療法」 (p.68～70)、第6章 E-1 「内服療法を受ける患者の看護」 (p.192～193)、E-2 「外用療法を受ける患者の看護」 (p.193～202) 薬理学 : 第12章 A-2-1 「炎症性皮膚疾患の治療薬」 (p.267～269) 臨床薬理学 : 第4章 F 「副腎皮質ステロイド薬による治療」 (p.284～296)
		d 造血幹細胞移植	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C-4-3 「造血幹細胞移植」 (p.83～89)、第5章 D-4 「造血幹細胞移植を受ける患者の看護」 (p.184～199) がん看護学 : 第5章 E 「造血幹細胞移植と看護」 (p.262～276)
		e 抗ヒト免疫不全ウイルス(HIV)療法	成人看護学 [11] (感染症) : 第6章 D-1 「HIV 感染症・エイズ患者の看護」 (p.375～380)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a アレルギー性疾患	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第5章 E 「疾患をもつ患者の看護」 (p.81～96) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第6章 F-1 「アトピー性皮膚炎患者の看護」 (p.208～211) 栄養食事療法 : 第10章 A 「食物アレルギー」 (p.158～160)
		b 自己免疫疾患	成人看護学 [11] (膠原病) : 第6章 E 「疾患をもつ患者の看護」 (p.194～204)
		c 血液悪性疾患	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C 「造血器腫瘍」 (p.74～134)、第5章 D 「造血器腫瘍患者の看護」 (p.166～219) 栄養食事療法 : 第9章 B 「白血病」 (p.154～155)
		d ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症	成人看護学 [11] (感染症) : 第6章 D-1 「HIV 感染症・エイズ患者の看護」 (p.375～380)
17 脳・神経機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 生命維持活動調節機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-1 「意識障害」 (p.54～60)、B-5 「自律性のある機能の障害」 (p.73～79)、第6章 B-1 「意識障害のある患者の看護」 (p.245～251)、B-9 「嚥下障害のある患者の看護」 (p.283～288)、B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.288～292)、B-11 「呼吸障害のある患者の看護」 (p.292～296)
		b 運動・感覚機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-3 「運動機能障害」 (p.65～71)、B-4 「感覚機能障害」 (p.71～73)、第6章 B-4 「運動麻痺のある患者の看護」 (p.262～270)、B-5 「運動失調・不随意運動のある患者の看護」 (p.270～274)、B-7 「筋力低下のある患者の看護」 (p.278～281)、B-8 「感覚障害のある患者の看護」 (p.281～283) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-2 「運動障害」 (p.148～164)、B-5-1 「運動障害」 (p.201～218)、C-5-1 「運動麻痺」 (p.231～244)
		c 言語機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-2-1 「失語症」 (p.61～64)、第6章 B-2 「言語障害のある患者の看護」 (p.251～256)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			リハビリテーション看護 ：第4章 A-5-3「構音障害」(p.164～168)、A-5-5「失語」(p.175～182)、B-5-2「構音障害」(p.218～222)
		d 高次脳機能障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-2「高次脳機能障害」(p.60～65)、第6章 B-2「言語障害のある患者の看護」(p.251～256) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章 A-1「NOTE 高次脳機能障害」(p.57)、第5章 C-6-10「高次脳機能障害」(p.221～222)、第7章 F-4-2「高次脳機能障害対策」(p.368) リハビリテーション看護 ：第4章 A-5-5-NOTE「高次脳機能障害」(p.177)
		e 生命・生活への影響	成人看護学 [7] (脳・神経)：第1章 A-2「脳・神経疾患患者の概況と看護」(p.8～9)、B「患者の特徴と看護の役割」(p.9～16)、第3章 A「脳・神経障害とは」(p.52～54)
		B 検査・処置を受ける患者への看護	a 脳波検査 成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 B-3-2「脳波検査」(p.104) 臨床検査 ：第10章 I-C-1「脳波検査」(p.318～324)
		b 髄液検査	成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 B-4-1「脳脊髄液(髄液)検査」(p.104～107) 臨床検査 ：第3章 D「脳脊髄液(髄液)検査」(p.97～99)
		c 脳血管造影	成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 B-2-4「脳血管撮影」(p.98～101) 臨床放射線医学 ：第4章 D-1「頭部」(p.91～92)
	C 治療を受ける患者への看護	a 開頭術	成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 C-1-1「開頭手術」(p.108～111)、第6章 C-1「開頭手術を受ける患者の看護」(p.303～311) 臨床外科看護各論 ：第4章 II-A「開頭術を受ける患者の看護」(p.403～415)
		b 穿頭術	成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 C-1-2「穿頭術」(p.113～114) 臨床外科看護各論 ：第4章 II-A「開頭術を受ける患者の看護」(p.403～415)
		c 血管バイパス術	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-1-3内「外科的治療」(p.141)
		d 血管内治療	成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 C-1-2「脳血管内治療」(p.111～113)、C-2-1「薬物治療・血漿交換療法」(p.115～118) 臨床外科看護各論 ：第4章 I-A-3「脳血管疾患」(p.381～385)
		e 脳室ドレナージ術	成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 C-1-1「開頭手術」(p.108～111)、第6章 C-1-b「手術後の看護」(p.306～308) 臨床外科看護各論 ：第4章 II-B「脳室ドレナージ術を受ける患者の看護」(p.415～419)
		f 脳室 - 腹腔 (V-P) シヤント術	成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 C-1-5「脳室-腹腔短絡(シヤント)術(V-P シヤント術)」(p.114) 臨床外科看護各論 ：第4章 II-C「脳室-腹腔短絡術(V-P シヤント術)を受ける患者の看護」(p.419～425)
		g 低体温療法	成人看護学 [7] (脳・神経)：第4章 C-2-2内「低体温療法」(p.119)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 脳血管障害(大脳、小脳)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-1「脳血管障害」(p.122～147)、第6章 B-1「意識障害のある患者の看護」(p.245～251)、B-2「言語障害のある患者の看護」(p.251～256)、B-4「運動麻痺のある患者の看護」(p.262～270)、B-5「運動失調・不随意運動のある患者の看護」(p.270～274)、B-9「嚥下障害のある患者の看護」(p.283～288)、B-11「呼吸障害のある患者の看護」(p.292～296)、D-1「クモ膜下出血患者の看護」(p.324～332)、D-2「脳梗塞患者の看護」(p.332～338) リハビリテーション看護 ：第4章 A「脳血管障害」(p.136～196)
		b 脳腫瘍(大脳、小脳)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2「脳腫瘍」(p.147～153)、第6章 D-3「脳腫瘍患者の看護」(p.338～345)、D-4「下垂体腺腫の摘出術を受ける患者の看護」(p.345～349)
		c 感染症(脳炎、髄膜炎)	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 F「脳・神経系の感染症」(p.205～209)、第6章 D-11「髄膜炎患者の看護」(p.373～376)
		d 頭部外傷	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-3「頭部外傷」(p.153～158)、第6章 D-5「頭部外傷患者の看護」(p.349～354) 臨床外科看護各論 ：第4章 II-B「頭部外傷患者の看護」(p.425～432)
		e 脊髄損傷	成人看護学 [10] (運動器)：第5章 D-1「脊髄損傷」(p.110～112)、第6章 G-3「脊髄損傷患者の看護」(p.285～293) 臨床外科看護各論 ：第4章 I-B-4「外傷に伴う脊髄疾患」(p.398～400)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
18 感覚機能障害のある患者の看護			リハビリテーション看護：第4章C「脊髄損傷」(p.226～259)
		f 重症筋無力症	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章D-5「重症筋無力症」(p.186～188)、第6章D-7「重症筋無力症患者の看護」(p.357～360)
		g Guillain-Barré〈ギラン・バレー〉症候群	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章C-3「ギラン・バレー症候群」(p.171～172)
		h 筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉	成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章E-2-5「筋萎縮性側索硬化症」(p.202～204)、第6章D-10「筋萎縮性側索硬化症患者の看護」(p.370～373)
	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 視覚障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-5-1「対光反射の障害と瞳孔不同」(p.73～74) 成人看護学 [13] (眼)：第3章「症状とその病態生理」(p.28～33)、第5章A「機能の障害」(p.74～83) リハビリテーション看護：第6章A「視覚障害」(p.304～324)
		b 聴覚障害	成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-4「感覚機能障害」(p.71～73) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第6章B-1「耳痛・耳漏」(p.182)、B-2「耳鳴」(p.183)、E-1「難聴のある患者の看護」(p.198～204)、E-2「慢性中耳炎患者の看護」(p.204～208) リハビリテーション看護：第6章B「聴覚障害」(p.324～334)
		c 嗅覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第6章B-4「鼻閉・鼻漏」(p.184)、E-4「慢性副鼻腔炎患者の看護」(p.212～215)
		d 味覚障害	成人看護学 [15] (歯・口腔)：第6章B-2-3「味覚障害のある患者の看護」(p.169～171)
		e 触覚障害	臨床外科看護各論：第4章I-C「末梢神経の疾患」(p.400～402)
		f 生命・生活への影響	成人看護学 [13] (眼)：第1章B「患者の特徴と看護の役割」(p.7～12) 成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第1章B「患者の特徴と看護の役割」(p.8～19)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 眼底検査	成人看護学 [13] (眼)：第4章B-8「眼底検査」(p.48)、第6章D-3「眼底検査を受ける患者の看護」(p.146)
		b 聴力検査	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第4章B-1「聴力検査」(p.64～72)、第6章C-2「聴力および平衡機能検査時の看護」(p.187)
		c 経鼻内視鏡検査	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第4章B-6「内視鏡検査」(p.81～82)、第6章C-1「咽頭・喉頭の内視鏡検査時の看護」(p.186～187)
		d 味覚検査	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第4章B-8「味覚検査」(p.83) 成人看護学 [15] (歯・口腔)：第4章B-7「味覚検査」(p.52)
	C 治療を受ける患者への看護	a 眼底光凝固療法	成人看護学 [13] (眼)：第4章C-6「光凝固」(p.66)、第6章E-7「光凝固を受ける患者の看護」(p.154)
		b 網膜剥離治療	成人看護学 [13] (眼)：第5章B-7-5「網膜剥離」(p.101～103)、第6章G-3「網膜剥離の患者の看護」(p.173～177)
		c 眼内レンズ挿入術	成人看護学 [13] (眼)：第5章B-8-b「白内障手術」(p.109～111)
		d 鼓室形成術	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章A-2-6「慢性中耳炎」(p.113～115)
		e 小線源治療	臨床放射線医学：第10章B「頭頸部がん」(p.226～231)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 中途視覚障害者	成人看護学 [13] (眼)：序章「眼疾患をもつ患者の姿」(p.2～3)、第1章B「患者の特徴と看護の役割」(p.7～12)、第6章J「ロービジョンケア」(p.191～194)
		b 突発性難聴	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章A-3-6「突発性難聴」(p.124)、第6章E-1「難聴のある患者の看護」(p.198～204)
		c Ménière〈メニエール〉病	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章A-3-2「メニエール病(特発性内リンパ水腫)」(p.119～121)、第6章E-3「メニエール病患者の看護」(p.209～212)、第7章B「メニエール病患者の看護」(p.234～240)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
19 運動機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	d 副鼻腔炎	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第 5 章 B-3-1 「急性副鼻腔炎」 (p.138~139)、B-3-2 「慢性副鼻腔炎」 (p.139~142)、第 6 章 E-4 「慢性副鼻腔炎患者の看護」 (p.212~215)
		e 末梢神経障害	臨床外科看護各論 : 第 4 章 I -C 「末梢神経の疾患」 (p.400~402)
		a 姿勢機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第 3 章 「症状とその病態生理」 (p.44~60)、第 6 章 C 「症状に対する看護」 (p.214~231)
		b 移動機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第 3 章 「症状とその病態生理」 (p.44~60)、第 6 章 C 「症状に対する看護」 (p.214~231)
		c 作業機能障害	成人看護学 [10] (運動器) : 第 3 章 「症状とその病態生理」 (p.44~60)、第 6 章 C 「症状に対する看護」 (p.214~231)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	d 生命・生活への影響	成人看護学 [10] (運動器) : 第 3 章 「症状とその病態生理」 (p.44~60)、第 6 章 C 「症状に対する看護」 (p.214~231)
		a 関節可動域〈ROM〉検査、徒手筋力テスト〈MMT〉	成人看護学 [10] (運動器) : 第 2 章 B-2 「関節の機能」 (p.28~32)、第 4 章 A-3 「神経診察」 (p.65~66)
		b 脊髓造影、椎間板造影	成人看護学 [10] (運動器) : 第 4 章 B-1 「画像検査」 (p.66~69) 臨床放射線医学 : 第 4 章 D-2 「脊椎・脊髓」 (p.92~94)
		c 膝関節鏡	成人看護学 [10] (運動器) : 第 4 章 B-3 「関節鏡検査」 (p.70)
		d 筋生検	成人看護学 [10] (運動器) : 第 4 章 C-4-3 「生検」 (p.71) 臨床検査 : 第 9 章 B-1 「生検(バイオプシー)」 (p.281~282)
	C 治療を受ける患者への看護	a ギプス固定	成人看護学 [10] (運動器) : 第 6 章 E-1 「ギプス固定を受ける患者の看護」 (p.240~248)
		b 牽引法	成人看護学 [10] (運動器) : 第 6 章 E-3 「牽引療法を受ける患者の看護」 (p.249~254)
		c 人工関節置換術	成人看護学 [10] (運動器) : 第 6 章 G-5 「関節リウマチ患者の看護」 (p.300~303)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 関節リウマチ	成人看護学 [10] (運動器) : 第 6 章 G-5 「関節リウマチ患者の看護」 (p.300~303) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第 6 章 E-1 「関節リウマチ患者の看護」 (p.194~197) 臨床薬理学 : 第 3 章 P 「関節リウマチ」 (p.179~184)
		b 椎間板ヘルニア	成人看護学 [10] (運動器) : 第 6 章 G-2-2 「腰椎椎間板ヘルニア患者の看護」 (p.281~284) 臨床外科看護各論 : 第 4 章 I -B-1 「脊椎変性症による脊髓の病変」 (p.392~396)
		c 四肢切断後	成人看護学 [10] (運動器) : 第 6 章 F-6 「四肢の切断術と看護」 (p.270~274)
20 排尿機能障害のある患者の看護	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 蓄尿・排尿障害	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-5-3 「排泄障害」 (p.75~77)、第 6 章 B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.288~292) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 B 「排尿に関連した症状」 (p.46~49)、第 6 章 II -3 「下部尿路症状のある患者の看護」 (p.208~221)
		b 生命・生活への影響	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 3 章 B-5-3 「排泄障害」 (p.75~77)、第 6 章 B-10 「排尿障害のある患者の看護」 (p.288~292) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 3 章 B 「排尿に関連した症状」 (p.46~49)、第 6 章 II -3 「下部尿路症状のある患者の看護」 (p.208~221)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a 尿流動態検査	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 B-6 「尿流動態検査(ウロダイナミックスタディ)」 (p.91)、第 6 章 III -5 「尿流動態検査(ウロダイナミックスタディ)を受ける患者の看護」 (p.234~235)
		b 残尿測定	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 6 章 III -3 「残尿測定検査を受ける患者の看護」 (p.229~230)
		c 膀胱鏡	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 B-5-3 「内視鏡的検査法」 (p.90~91)、第 6 章 III -4 「膀胱鏡検査を受ける患者の看護」 (p.229~230)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
21 性・生殖・乳腺機能障害のある患者の看護	C 治療を受ける患者への看護	a 膀胱切除術	臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.345～355) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-B-1「膀胱の手術を受ける患者の看護」(p.269～277)
		b 前立腺切除術	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-B-2「前立腺の手術を受ける患者の看護」(p.278～282)
		c ホルモン療法	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-C-3「内分泌療法を受ける患者の看護」(p.294～296)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 腎・尿路結石	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-B-5「尿路結石の手術を受ける患者の看護」(p.287～289)
		b 腫瘍(腎癌、膀胱癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-B-1「膀胱の手術を受ける患者の看護」(p.269～277)、B-3「腎臓の手術を受ける患者の看護」(p.282～285)
		c 前立腺肥大	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章Ⅱ-3「下部尿路症状のある患者の看護」(p.208～221)
	A 原因と障害の程度のアセスメントと看護	a 性・生殖機能障害	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第6章V-F「性・生殖機能障害のある患者の看護」(p.307～310) 成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章E「臓器別疾患・機能的疾患患者の看護」(p.245～277)
		b ホルモン欠落症状	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章I「ホルモン療法を受ける患者の看護」(p.329～332)
	B 検査・処置を受ける患者への看護	a ヒトパピローマウイルス〈HPV〉検査	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第4章A-3「細菌・ウイルス・原虫検査」(p.58～59)、第6章C-3「検査・処置時の看護」(p.225～227) 臨床検査：第9章A「細胞診」(p.275～279)
		b 腹部超音波、経腔超音波検査	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第4章A-5-1「超音波検査法」(p.60～61)、第6章C-3「検査・処置時の看護」(p.225～227) 臨床検査：第10章Ⅱ-A-3「腹部超音波(腹部エコー)検査」(p.336～339) 臨床放射線医学：第5章D「超音波診断」(p.114～125)
		c 乳房超音波検査	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.147～166)、第6章C-3「検査・処置時の看護」(p.225～227) 臨床検査：第10章Ⅱ-A「超音波検査」(p.334～339) 臨床放射線医学：第5章D-2「乳腺」(p.117～118)
		d マンモグラフィー	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.147～166)、第6章C-3「検査・処置時の看護」(p.225～227) 臨床放射線医学：第2章D-5「乳房撮影(マンモグラフィ)」(p.47)
	C 治療を受ける患者への看護	a 勃起障害治療	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章O-2「男性性機能障害」(p.189～190)、第6章V-F「性・生殖機能障害のある患者の看護」(p.307～310)
		b 性交障害治療	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章O-2「男性性機能障害」(p.189～190)、第6章V-F「性・生殖機能障害のある患者の看護」(p.307～310)
		c 乳癌手術	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.147～166)、第6章E-7-b「乳房腫瘍患者の看護」(p.258)、F-2「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.298～314) 臨床外科看護各論：第1章Ⅱ-C「乳房の手術を受ける患者の看護」(p.63～81)
		d 女性生殖器手術	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第4章B-8「手術」(p.87～94)、第5章B「臓器別疾患」(p.103～172)、第6章F-1「外性器・内性器の手術を受ける患者の看護」(p.277～298)
		e 男性生殖器手術	成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章M-5「前立腺がん」(p.181～183)、M-6「精巣腫瘍」(p.183～184)、M-7「陰茎がん」(p.184)
		f ホルモン療法	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第5章B-7-1「乳がん(乳腺悪性腫瘍)」(p.147～166)、I「ホルモン療法を受ける患者の看護」(p.329～332)
	D 病期や機能障害に応じた看護	a 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍)	成人看護学 [9] (女性生殖器)：第6章E-3「子宮疾患患者の看護」(p.250～254)、E-5「卵巣疾患患者の看護」(p.256～257)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 男性生殖器の疾患 (前立腺炎、前立腺肥大)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 I 「尿路・性器の感染症」 (p.152～158)、J-5 「前立腺肥大症」 (p.163～165)
		c 腫瘍(乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 M-5 「前立腺がん」 (p.181～183)、M-6 「精巣腫瘍」 (p.183～184)、M-7 「陰茎がん」 (p.184) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第6章 E-3 「子宮疾患患者の看護」 (p.250～254)、E-5 「卵巣疾患患者の看護」 (p.256～257)、E-7 「乳房疾患患者の看護」 (p.258) 臨床外科看護各論 : 第1章 II-C 「乳房の手術を受ける患者の看護」 (p.63～81)
		d 生殖機能障害(月経異常、更年期障害)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第6章 E-8 「月経異常・月経随伴症状のある患者の看護」 (p.259～262)、E-11-a 「更年期障害患者の看護」 (p.272～273)